



輪島・まんなか漆ロード完成

「漆の里のまんなか」
として世界に誇る
輪島の漆文化を伝える



輪島・まんなか漆ロード

WAJIMA・MANNAKA URUSHI ROAD



輪島塗会館

輪島塗ショップのほか、輪島塗の製作工程や歴史文化を伝える資料展示室を有する、輪島塗の情報発信拠点施設。



通りのシンボル樹(のときリシマツツジ)



事業の完成を記念して、通りのシンボルとして、輪島市ふれあい健康センターの敷地内に植樹した。



事業区間
L=270m
W= 12m



漆の里交流館

輪島塗や輪島の特産品のショップ、カフェを有する交流施設。沈金体験も実施。



輪島KABURET®

多世代多文化共生型の街づくりを目指し、空き家を利用した温泉、カフェ、レストラン、運動施設などを有するコミュニティ施設。

輪島・まんなか漆ロード
再生事業まちづくり協議会



会長 福田 和稔

まちづくり協議会では、道路整備に併せて建築物等の形態や意匠の基準を定めた「景観まちづくり協定」を策定し、景観の保全・創出に取り組んでおり、「輪島・まんなか漆ロード」が完成して、長らく待ち望んでいた伝統と文化が感じられる街並りが形成できました。

この通りは、元来、漆器店や漆関連施設が立地する輪島の漆の中心であることから、今後は、ますます輪島の漆文化や魅力を発信するとともに、「ふくしいやし・おもてなし」をキャッチフレーズに、観光客だけではなく地元住民にもやさしい活力ある街になるよう、一層頑張っていきたいと思っております。

事業概要

事業主体 石川県
事業箇所 輪島市河井町
道路延長 L=270m
道路幅員 W=12m(交差点部15m)
(車道3.0m×2、歩道2.5m×2、路肩0.5m×2)

事業のあゆみ

平成24年度 事業着手
まちづくり協議会設立
景観まちづくり協定締結
平成27年度 輪島景観重点地区に指定
平成30年度 完成

街路整備



道路拡幅、無電柱化による、快適な歩行空間の確保と美しい街なみの景観の創出。



沿道の景観整備



景観まちづくり協定に基づき、伝統的な蔵づくり、浜屋づくりを組み合わせた、漆をイメージさせる沿道景観を形成。

沿道の賑わいづくり



沿道住民が協力し、のときリシマツツジの鉢植えを通りに設置。



歩道には輪島塗の黒・朱を配色。さらに日本遺産に登録されたキリコ型の灯具と、漆器などを展示する空間を備えたフットライトが、地域の文化・伝統を感じさせる歩行空間を演出。